

パルス特性を用いた次世代物質科学研究の最前線

2013年9月10日(火)、11日(水)

於：東京大学柏キャンパス物性研究所 6階大講義室

主催：日本放射光学会

www.jssrjp/wakate2013

1日目：9月10日(火) 13:00-18:00

1. 低炭素社会を実現させる時間分解研究

小澤健一 東工大「表面光起電力測定から探る二酸化チタンの光励起キャリアの動的過程」

杉本敏樹 京大「可視光応答型酸素発生光触媒表面における電子-格子結合ダイナミクス」

山田剛司 阪大「時間分解2光子光電子分光で観る有機薄膜の電子励起過程」

櫻井岳暁 筑波大「有機薄膜太陽電池界面の電子構造研究～パルス放射光実験に寄せる期待～」

2. 特別セッション：時間とは？

杉野修 東大「時間分解第一原理計算の現状と未来」

特別講演：AHCI(独立時計師協会) 菊野昌宏「菊野昌宏の時計作り」

2日目：9月11日(水) 9:00-17:00

4. 超高速時間分解の世界

石田行章 東大「時間分解ARPESによる光励起非平衡状態の研究」

東純平 佐賀大「時間分解光電子分光法を用いた半導体表面における光起電力効果の研究」

成瀬延康 阪大「フェムト秒時間分解電子回折法による超高速構造動力学研究」

新倉弘倫 早稲田大「分子内アト秒電子波束運動の測定」

5. 基調講演：次世代光源

阪井寛志 高エネ研「放射光源最前線」

6. 時間分解ツールの新展開

M. Silly SOLEIL「Transient photo-excited phenomena investigated by time resolved X-ray photoemission spectroscopy at TEMPO beamline」

山本達 東大「時間分解軟X線光電子分光法でみる半導体表面キャリアダイナミクス」

山口明啓 兵庫県立大「時間分解光電子分光による磁気円盤の動的挙動の直接観察」

吉田昭二 筑波大「光励起STMによる超高速スピンダイナミクス計測」

